

## 地縁曼荼羅



一昔前の日経新聞日曜版三面記事の隣ページ、寂聴さんの「奇縁まんだら」は日曜朝の楽しみでした。佳境の域に達したかにみえた時、突然の病により休刊となりましたが、のちに腰痛が進み休刊された模様が、彼女の若い女性秘書のテレビ番組を見てわかりました。面接で彼女が「細雪」を「細い雪」と読み合格したとの事でした。寂聴さんは文学少女上りがいかに役に立たないか知っており、この細い雪さんが寂聴さんのお眼鏡に適った訳です。しかし乍ら門前の小僧習わぬ経を読む”を地でゆき、寂聴さんをして「私の悪口ばかり書いた本が売れているのよ」と言わしめた程の才媛だったのです。

### 【閑話休題】

私の16才の頃からの友人、神奈川県在住のI氏は、歳は私より2歳上で、その期間は余分な勉強に費やしていたという事ですが、高校一年のころ、クラブ活動の山岳部で一緒になり爾来60余年、就職や結婚で会うのは年に1回2回の間柄でしたが、彼が役人を辞めて帰熊する回数が増えるとともに…。最近の彼の住まい、横浜の狭いマンションと拙宅の南阿蘇村の管理人役がほぼ半年半年の生活を送っておられます。嫁さんとうまくいかず、自宅とは別の姉さんのマンションの管理人役で独り暮らし、南阿蘇村の管理人役の独り暮らしで極楽極楽と嘯き、庭仕事や家庭菜園に独り勤しんでおり、田舎ですから食料品の買い物には空港そばに住む別の友人が登ってきてフォローしています。今年も「4月頃来てもいいか」と尋ねてきたので、「誰も住んどらんけんいつでんよかばい」と言ったら早速「今月20日頃に来てもよかるか？」と控えめに言うので「エエヨ」で決まりました。拙宅のすぐ下の久木野温泉が地震で壊れて無くなったのは残念ですが、おいしい無添加の阿蘇の天然伏流水を沸かして、五岳向きに誂えた大きめの風呂に独りで1時間程浸かるので、時には死んではおらんかと窓越しに確認しています。

自家輸入リビングウェア マツフジ

# クーポン券

ご来店のうちレジにて  
税込1,200円以上のお買物で

# 100円引き!

2023年2月28日まで有効